

基本方針2 公私の切磋琢磨により高校の教育力を向上させます（1）公私が力を合わせて高校の教育力向上をすすめます

【重点取組の点検結果】

項目		計画策定時の現状 （24年度）	目標 （29年度）	実績 （25年度）	進捗 状況	実施事業（25年度）	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
5 就学機会 の確保と学 校を選択で きる環境づ くり	16 高校の授業 料無償化	【公立高校の授業 料無償化】 授業料無償化の 実施	公私を問わず自 由に学校選択で きる機会の提供	全府立高校生の 授業料無償化を 実施	○	(継)公立高等学 校授業料無償化 の実施	高校授業料無償化法に基づき、国の交付金を 活用して全府立高校生の授業料不徴収を継 続して実施した。 ・交付金対象府立高校生 120,698人 ・交付金収入額 12,378,809千円
		【私立高校生等 に対する授業料の支 援】 授業料無償化制 度の実施	公私を問わず自 由に学校選択で きる機会の提供	授業料無償化制 度の実施	○	(継)私立高等学 校等授業料支援 補助金	◆授業料無償化制度を実施した。 ◆制度の検証のため、公私の流動化状況の分 析に努めるとともに、25年度の私立高校の 新入生、また、23年度の新入生から拡充し た無償化制度により入学した3年生の保護 者に対し、学校選択に関する満足度調査を実 施した。

項目		計画策定時の現状 (24年度)	目標 (29年度)	実績 (25年度)	進捗 状況	実施事業(25年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
5 就学機会 の確保と学 校を選択で きる環境づ くり	17 奨学金制度 の運営・運用	【公益財団法人大阪府育英会における奨学金事業】 奨学金申込者における中学在学時の奨学金制度周知度：96.2% 給付型奨学金の事業資金の確保に向けた寄附金実績： 約630万円 (年額)	奨学金申込者における中学在学時の奨学金制度周知度：98.0% 給付型奨学金の事業資金の確保に向けた寄附金目標額： 2,000万円 (年額)	奨学金申込者における中学在学時の奨学金制度周知度：97.0% 給付型奨学金の事業資金の確保に向けた寄附金実績： 約2,682万円 (年額)	○	(継)公益財団法人大阪府育英会における奨学金事業	以下の取組みを実施した。 ・中学校の教職員等に奨学金について説明会を実施 ・府内中学3年生全員に奨学金の趣旨等を記載したチラシを配布 ・経済団体を通じて企業を訪問 ・府内の病院、診療所、老人福祉施設、鉄道会社、図書館等にポスターを掲示 ・インターネットを活用した寄附金の募集を開始
		【奨学金制度指導・支援の充実】 生徒・保護者に対する奨学金制度等の周知や相談の支援を実施	生徒・保護者に対する奨学金制度等の周知や相談の支援を引き続き実施 (25年度～)	生徒・保護者に対する奨学金制度等の周知や相談の支援を実施	○	(継)奨学金制度の周知・相談支援	学校、府民に対しての奨学金に係る説明会を実施し、制度の周知や相談の支援を行った。 ・教職員向け奨学金説明会(4月) ・府民向け奨学金説明会(4月) ・府民向け奨学金個別相談会(11月) ・電話相談(随時)

項目		計画策定時の現状 (24年度)	目標 (29年度)	実績 (25年度)	進捗 状況	実施事業(25年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
5 就学機会の確保と学校を選択できる環境づくり	18 府立高校における広報活動の充実	大阪府公立高校進学フェアの実施	府内全域を対象とした大阪府公立高校進学フェアの開催に加え、ブロックごとのフェアを開催するなど情報提供機会の充実 (25年度～)	大阪府公立高校進学フェアの実施	○	(継) 広報強化推進事業	大阪府公立高校進学フェア 2014 を実施し、延べ約 15,000 人が来場した。
		各学校の広報活動の評価・改善	各学校の広報活動の充実 (25年度～)	・全公立高校の情報を掲載した「公立高校ガイド」の配付 ・全公立高校の体験入学日程をホームページで公表	○	(継) 「公立高校ガイド」の作成	6 月下旬に府内全公立高校の情報を掲載した「公立高校ガイド」を府内全中学 3 年生に配付し、府立高校の広報活動を行った。
		学校情報検索システムの運用 (25年度～)	学校情報検索システムの運用	(新) 高校入試情報提供事業	25 年 8 月 1 日から「大阪府立高等学校・支援学校検索ナビ(咲くなび)」の運用を開始。中学生・保護者の情報収集や中学校の進路指導を支援するため、高校入試に役立つ情報をシステムで提供した。		
	19 私立高校に関する学校情報の公表・公開 【基本方針7 具体的取組 129 の再掲】	・財務情報 78.1% ・自己評価 74.0% ・学校関係者評価 49.0% (注)	全校種で 100%	— ※25年度実績は 26 年秋以降に公表予定	—	(継) 経常費補助金の配分	情報を公表していない学校については、経常費補助金を減額して配分した。

(注) 計画策定時は 23 年度実績(財務情報 62.5%、自己評価 62.5%、学校関係者評価 34.4%)を記載していたが、24 年度実績に修正した。

項目		計画策定時の現状 (24年度)	目標 (29年度)	実績 (25年度)	進捗 状況	実施事業 (25年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
6 公私の切磋琢磨と連携・協力による取組み	20 英語コミュニケーション能力の育成	生徒の英語力 TOEFL・TOEIC 受検者数 使える英語プロジェクトによる団体受検者数 225名 実践的英語教育強化事業による受検者数 574名 (24年度で終了)	生徒の英語力 TOEFL・TOEIC 受検者数 増加をめざす	生徒の英語力 TOEFL・TOEIC 受検者数 使える英語プロジェクトによる団体受検者数 TOEFL 231名 TOEIC 315名	○	(継) 使える英語プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 研究校 24校に外国人指導助手を配置し、以下の取組みを推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「授業を変える」取組み T-NET(外国人英語講師)派遣(5.12～) 24校連絡協議会開催(4月、10月、12月) 各研究校において公開研究授業を実施 ◆ 研究校以外の学校も対象に含め、以下の取組みを推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「さらに伸ばす」取組み Advanced Class 前期 85名、後期 77名 TOEFL 団体受験 231名受験 TOEIC 団体受験 315名受験 ・「機会を与える」取組み 海外活動支援校(海外語学研修の引率教員旅費を補助)として 27校を決定 国内活動支援校(国際会議、英語コンテスト、English Camp、国際交流の受入等に対する支援)として 36校を決定 ・「教員を鍛える」取組み 英語科教員を対象としたネイティブ講師による短期集中研修(7/22～7/26、7/29～8/2に各 22名参加)
		府立高校生のうち英検準 2級相当以上の割合 25.8%	府立高校生のうち英検準 2級相当以上の割合 30%	府立高校生のうち英検準 2級相当以上の割合 28.2%		△	
		英語教員の英語力 府立高校における英検準 1級、TOEFL550点、TOEIC730点以上の教員 42.5%	英語教員の英語力 府立高校における英検準 1級、TOEFL550点、TOEIC730点以上の教員 60%	英語教員の英語力 府立高校における英検準 1級、TOEFL550点、TOEIC730点以上の教員 43.3%			

項目		計画策定時の現状 (24年度)	目標 (29年度)	実績 (25年度)	進捗 状況	実施事業 (25年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
6 公私の切磋琢磨と連携・協力による取組み	20 英語コミュニケーション能力の育成	—	—	—	—	(新)英語教育改革の推進	<p>小学校1年生から高校卒業(大学入学)までの英語教育を抜本的に改善するため、英語教育改革プロジェクトチームを設置し、高校においては今後の取組みの方向性を以下のとおり整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校でのフォニックスによる音声指導と連動した高校での英語指導法の改革プランの策定 ・TOEFL を府立高校の授業に取り入れるための方策についての研究 ・SET (スーパーイングリッシュティーチャー) 制度の導入の決定 ・海外大学への進学のための生徒支援や大学等への留学生と府立高校生との交流の企画 ・府立高校入学者選抜における TOEFL 等外部検定の活用についての調査・研究
		ユネスコスクール公私合わせて17校	ユネスコスクール公私合わせて30校	ユネスコスクール公私合わせて18校	△	(新)大阪ユネスコスクールネットワークの取組みの充実	<p>私立追手門学院中学校高等学校(10/16)、府立今宮高校(11/22)、府立春日丘高校・府立泉北高校(1/31)の4校がユネスコスクールへの申請書を文部科学省に提出した。</p> <p>【大阪ネットワークの取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ユネスコ世界大会・高校生フォーラム』準備セミナー2013を開催(8/17~8/18、大阪府立大学 i-site なんば) ・「アジア・太平洋10カ国ESD高校生フォーラム」を開催(11/2~11/4、堺市産業振興センター)

項目		計画策定時の現状 (24年度)	目標 (29年度)	実績 (25年度)	進捗 状況	実施事業(25年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
6 公私の切磋琢磨と連携・協力による取組み	21 理数教育の充実	国際科学オリンピック全国大会での入賞	国際科学オリンピック世界大会への出場	国際科学オリンピック全国大会に、延べ211名の生徒が参加し、7名が入賞(世界大会への出場には至らず)	△	(新)おおさかグローバル人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> SSN(サイエンス・スクール・ネットワーク)連絡協議会を開催した(5/9)。 大阪数学コンテストをプレ実施した(7/14、15校74名参加、26年度本格実施)。 SSN連携校(府立15校)の協力のもと、大阪サイエンスデイ(「大阪府生徒研究発表大会」及び「科学の甲子園大阪大会」)を開催した(10/26、25校延べ1,800名の高校生が参加)。 大阪工業大学とSSNとの連携に関する覚書を締結した(12/20)。
		SSN参加校17校	SSN参加校公私合わせて30校	SSN参加校公私合わせて18校			
	22 キャリア教育の充実	各校の事業計画をもとに推進校を指定 府立学校58校 私立学校14校	事業再構築に基づいたキャリア教育の推進 (26年度～)	推進校で実践的なプログラムを実施	○	(継)「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業	推進校72校(府立58校、私立14校)の校長が、専門学校や企業、外部人材と連携して、生徒のニーズに応じた実践的なキャリア教育・職業教育プログラムを実施した。
		府立高校全体で「志(こころざし)学」の実施	「志(こころざし)学」実践事例集の作成 (29年度)	府立高校全体で「志(こころざし)学」の実施			
	23 公私間の教員の人事交流や合同研究会の実施 【基本方針6 具体的取組118の再掲】	公私間の人事交流の状況4名	公私間の人事交流を継続して実施 (25年度～)	公私間の人事交流の状況0名	△	(継)年度当初教職員人事異動	公私間の人事交流の継続実施に向けて公私で協議を行った。
		合同研究会の開催	合同研究会を継続して実施 (25年度～)	進路指導担当者を対象とした合同説明会の実施 (年2回)			